ウクライナ地雷対策会議（UMAC2026）
中曽根副大臣ステートメント
２０２６年１１月１６日、於：ブリュッセル

アストリッド・ベルギー王国女王殿下、
カッラスＥＵ外務・安全保障政策上級代表閣下、
コレツキー・ウクライナ首相閣下、
御出席の皆さま

前回主催国の日本政府を代表し、今回のウクライナ地雷対策会議（ＵＭＡＣ）を主催するＥＵに対し敬意を表します。

日本政府は、昨年、「ウクライナ地雷対策支援イニシアティブ」を発表しました。イニシアティブの具体化のためウクライナ政府に対し４０億円（約２５００万ドル）の無償資金協力を決定し、ウクライナへの地雷対策分野の支援額は累計で約１億３，５００万ドルに上ります。

このイニシアティブの３本の柱に沿った日本政府の取組を紹介します。

第一に、「人材育成」と「技術」の強化について、日本政府は、従来と比較して安全性・効率性が高い日本製の地雷探知機や地雷除去機、地雷探知犬の供与、またその操作や維持管理の研修といった支援を実施してきました。

第二に、地雷対策を復旧・復興プロセスへと移行させていく「ネクサス」です。将来的にウクライナ企業による第三国へのビジネス展開を期待し、日本政府は、地雷対策分野の産業振興を後押しするための現地調査を主導して実施しています。

第三のパートナーシップの多角化・強化においては、日本・ウクライナ・コロンビアで情報管理、品質管理、回避教育等のワークショップを開催しました。日本が長年支援してきたカンボジアと連携して人材育成も行っています。

ＵＭＡＣ２０２６の会場では、明日から日本企業が二つのブースに出展し、新しい技術を紹介します。

御紹介したような政府の取組も引き続き続けていき、日本は、今後も官民が一体となって地雷対策に取り組んでまいります。

ありがとうございました。

（了）